

充実した2学期に…キーワードは「自分から」

2学期がスタートして1か月余りが経過しました。厳しい残暑が続いた9月が終わり、ずいぶん過ごしやすい気候となってきました。

夏休み明け、子どもたちがどんな姿、表情で登校するのか少し心配していました。しかし、始業式の朝、元気なあいさつをしながら登校してくる子どもたちを見て、少しほっとしました。きっと、夏休み中、各家庭や地域で有意義な生活を送り、「心のエネルギー」が「満タン」になったのだと思いました。保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

さて、今年の2学期は84日間あります。2学期の始業式では、子どもたちにスライドを見せながら次のような話をしました。

こんな2学期に！

★自分から（ ） ★自分で（ ）

（ ）の中には
何が入る？

◆ 「自分から」進んで行動してほしい

◆ 例えば

「自分から」あいさつ

「自分から」聞く

「自分で」「自分から」勉強

「自分から」チャレンジ



4月から、「主体性」の育成を重点に掲げ、教育活動を行っています。主体性を身につけられるように、授業では、ペアやグループでの学びを多く行い、お互いに（自分から）聞く（聴く・訊く）ことができる学習を目指しています。わからないこと、困ったことがあれば、いつでも「教えて」「助けて」と言える、そんな安心感のある学校・学級にしていきたいと思います。主体性の育成には、お互いに依存できる関係を築いていくことが、とても大切なのです。そういった土台・雰囲気のもとで、子ども一人一人が自分で課題を見つけ解決できる力を育てていきます。

保護者の皆様、お子さんのこと、学校のことでお気づきの点があれば、遠慮なくいつでも学校までお知らせください。2学期も引き続き、学校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

金山のよさ・魅力 体験・交流を通して学習しています

3年生から6年生は、毎年「総合的な学習の時間」に、金山町をフィールドとした学習を行っています。各学年のテーマは以下のとおりです。

- ◆3年生 「わたしたちの町 金山町の自慢」
- ◆4年生 「金山杉の魅力を再発見」
- ◆5年生 「新たな産地へ 落花生の町 金山」
- ◆6年生 「金山町活性化プロジェクト」



「みんなが主役、みんなの故郷、金山町」～住んでよし、訪ねてよしのまちの実現～

これは、第5次金山町総合発展計画に掲げられている「まちの将来像」です。「まちの宝」である金小の子どもたちが、ふるさと金山を題材にして、様々な分野・領域について学ぶことは、大変意義深いことです。金山町の将来の担い手である子どもたちが、「金山って、いいところだなあ」と思えるよう、総合的な学習の時間では、金山町の魅力を探究しながら学んでいければと考えています。教室を飛び出し、町内のいろんな大人、自然、歴史、文化、産業等とのふれあい、かかわりを通して、子どもたちが主体的な学び手となるよう努めていきます。そして「まちの将来像」の実現につながってくれればと願っています。

校外学習の思い出 その2



5年生（神室少年自然の家 周辺）
久しぶりに宿泊体験ができました



1年生（遊学の森 周辺）
木の実を拾ってリースを作りました

4月のPTA総会でも説明させていただいたように、山形県では、学校における「働き方改革」を推進しています。教員が生き生きとした姿で子どもたちの前に立てることが、子どもたちの教育活動の充実につながります。授業の質を高めるための授業準備の時間や子どもと向き合う時間を確保するため、金山小でも教員の働き方の見直しを図っています。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

<主な取組> ※ 本校教員の勤務時間 8：15～16：45

- 週1回定時退勤日の設定
 - ICTによる業務改善（連絡、調査、情報共有等）
 - 教育業務支援員（スクールサポートスタッフ）・事務員による教員の業務支援
 - 学校行事の精選（廃止、統合、縮小、短縮）
 - 外部（地域）人材の活用
 - 学校閉庁日の設定
 - 電話対応時間帯の設定（7：50～17：30）
- ほか

